

2012.11
VOL.59



● 上半期活動総括 ●

● 上京運動 ●

● 田舎まるかじりツアー ●



2012 みどり青年部 上半期 活動総括



委員長
佐藤 喜紀

近年、度を越した自然災害が頻発している。庄内地方では、

一月、二月の豪雪、四月の爆弾低気圧、夏の猛暑、渇水、年々

自然環境は厳しさを増すばかり。

農産物や農業施設などは被災の程度にもよるが、補償の対象と

なる場合はあるものの、農業者が作物に注いだ愛情、手間は戻

らない。失ったものを復旧、回復させるには莫大な時間と労力

が必要だが、長年培った経験を糧に、知恵と工夫をもって強い

気持ちで一歩ずつでもこの苦境を乗り越えてほしい。青年部と

いう組織が少しでも力になればと願うばかりです。

上半期における青年部活動で

すが、総会で申し上げた通り、

大幅な助成金の削減があり上京

運動、田舎まるかじりツアーに

おきましては、大変厳しい条件

のもと、盟友の皆様の協力を得

まして成功させることが出来ま

した。ご協力本当にありがとうございました。

また、盟友交流

会へは各支部より多数参加いた

だき近年にない盛り上がりだっ

た様に思えます。交流会での話

題の中心は、今の政治や行政に

対する不満や不安、人・農地プ

ランに対する疑問が多かった様

に感じられました。政策が変わ

っても我々農家は、現実と向き

合いながら、種を蒔き、収穫す

る事。足腰の強い農業を目指す

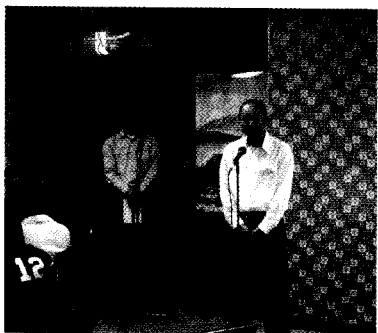
ために盟友の皆様の益々の活躍

を期待しています。下半期も盟

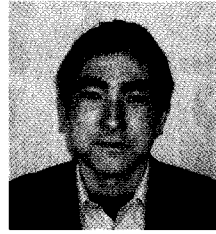
友の皆様と頑張っていきたいと

思いますのでご協力を宜しくお

願いたします。



みどり青年部上京運動



農政部長 阿野 津 寛 紀

となりました。

6月19、20日に上京運動を行ってきました。この事業も今年で20年目となりました。ここま

で長年にわたり、続けてこられたのも諸先輩方の努力と盟友の協力があつたからこそだと思います。改めて感謝申し上げます。

例年同様、訪問校数は神奈川県、東京都内合わせて24校でした。訪問先での授業は大変好評で、担任や学校の先生方の転任先からの新規の申し込みもあり、年々応募校数が増えている状況です。大変喜ばしいことであり、今後継続していく上で、我々の励みになります。

今年も青年部の予算の関係で参加人数が絞られ、参加盟友は17名の「小数精鋭」で臨むこ

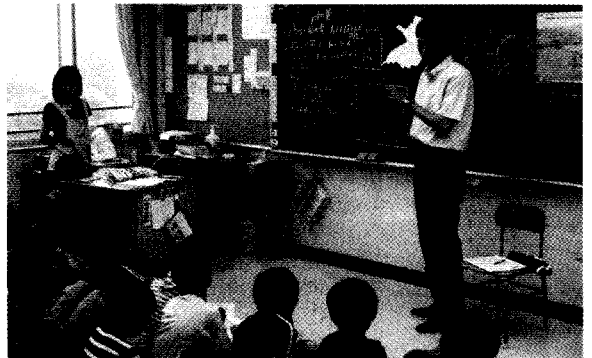
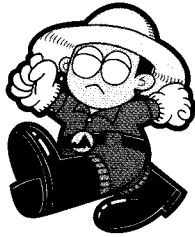
授業内容は、まず稲作りの1年の流れを映像（DVD）で見てもらいます。そして、実際の生産現場での苦労や工夫、仕事に対する思いや考え方、成功した時の喜びを自らの体験を交えて話しました。また、子供達からの質問では、子供らしく単純で「ホッ：。」とするものから、鋭く深く切り込んで「ハッ！」とさせるものまで多種多様でした。予め用意されていた質問であるとはいえ、毎日口にして

いる米や食品の安全性に対しての関心は、大変強いものだと感じました。

また、5月にこちらから送った苗は、校庭の花壇（田んぼにして活用）やバケツで大切に育てられていました。植込み本数の確認、水の量や管理方法、鳥害対策等アドバイスさせてもらい、無事に収穫の秋を迎えられる様祈りながら学校を後にしました。

この事業は、食育と庄内の農業、その現状を知り理解を深めてもらう絶好の機会で、大変有意義であると思います。また、子供達や先生方との交流を通して、同業者とは違う、一般消費者、異業種の立場からの「食」や「農」に対する意見は、今後私達の参考になることも多いと思います。

日々の仕事で忙しい最中、盟友の皆様のご協力、誠にありがとうございました。



田舎まるかじりツアー 2012 in 庄内の夏



副委員長
成澤 貴行

今年の田舎まるかじりツアーは、7月27日から7月29日の日程で行いました。連日の真夏日のなかでしたが、東久留米市立第二小学校から12名の子供達と、保護者と先生10名合わせて22名の参加を頂きました。

一日目は山居倉庫見学、カントリー見学、田んぼ教室、しらい自然館でのバーベキュー。二日目は、メロンの収穫体験、餅



副委員長
池田 浩良

猛暑が続く中、今年も待ちに待ったまるかじりツアーがはじまりました。

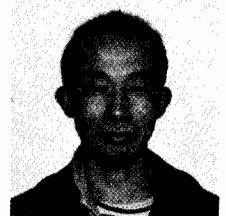
ヘリ防除の見学から始まりカントリー見学と、見学中にはツアー参加者の中から、JA職員もヒヤッとするような鋭い質問もありました。普段なかなか体

つき体験、恒例のどろんこパレーそして民泊と、ここ庄内でしか味わえない行程でした。その中で私は、初めて民泊の受け入れをしました。我が家の田んぼや畑に連れて行ったのですが、イナゴやカエルを見つけると、必死に追いかけて捕まえる姿が印象的でした。都会に住んでいる子達にとって、虫自体が珍しい物のようで、手にとって喜んでいました。最終日に車の中で、「お父さんも連れて三人でまた来たいです。」「食べ物も美味しくなかったです。」「言ってくれたので、まるかじりツアーは成功だったなあと思いました。」

最後になりますが、今年のまるかじりツアーにご協力いただいた青年部盟友の皆様、そして関係各所の皆様ありがとうございました。

験できない自然とのふれあいの中で、是非、たくさんのご経験を学び、経験して頂きたいと考え、私たちが様々な企画を検討しました。初日に行われたバーベキューでは、庄内の味覚を堪能して頂き、懇親を深めることができました。

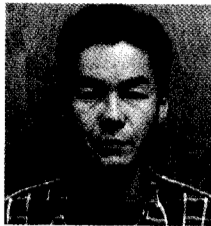
昨年は震災の影響もあり、民泊を見合わせておりましたが、今年は何んとか再開することができ、大変嬉しく思います。天候にも恵まれ、無事まるかじりツアーを終えることができ、ご協力頂きました皆様には、大変感謝しております。本当にありがとうございます。今後、もっとたくさんの方々に庄内の良さを知って頂けるよう、より良いものを作りあげていきたいです。



副委員長
吉宮 洋昭

青年部事業の大きなメインイベントの一つでもある、まるかじりツアーを今年も多くのお友の協力を得て、無事に行うことができました。お忙しい中ご参加下さった皆さん、大変ありがとうございました。

私は、バーベキューの準備から参加しました。二日目はバスの添乗を務め、移動中のバスの中では、子供達や父兄の方々と会話を楽しみました。会話の中



総務副部長
伊藤 昭

私は今回、田舎まるかじりツアーで、二日目の添乗員を務めました。

私はまるかじりツアーに参加すること自体が初めてでしたが、

では、色々疑問に思っていることをたくさん聞かれ、普段私たちが当たり前に思っている事や、庄内に住んでいると特別に思わない事でも、ツアーの参加者にとっては、不思議に思うこともあるのだなと実感させられました。

メロンの収穫に餅つき、泥んこパレーに温泉と二日目の行事も無事に終えることができました。今回ツアーに参加された皆さんには、十二分に庄内の自然や豊かさ、食や文化に触れてもらい、楽しんでもらう事ができたのではないのでしょうか。

同行した添乗員の方々や、各支部の部員の方々の協力のお陰でなんとか添乗員を務めることが出来ました。

また、都会の子供達を相手にするというのも不安でしたが、子供達はとても明るく元気で、こちらも楽しい一日を過ごすことが出来ました。今回のまるかじりツアーは、私にとっても非常に貴重な経験となりました。

田舎まるかじりツアー アンケートより

参加した動機

- 〈児童〉
- 友達に誘われたから
 - お米が実際どのように作られるか見てみたかったから
 - ツアーの内容が楽しそうだったから
 - どろんこパレーが楽しそうだったから
 - 以前、兄が参加していて楽しそうだったから
 - 庄内には一度も行ったことがなかったから
 - お米のことを自由研究にしようと思ったから
 - 山形のこともっと知りたかったから

- 〈保護者・教諭〉
- 庄内が大好きだから
 - 子どもに庄内の様子を見せたり、体験させたかったから

庄内について印象に残っていること

- 〈児童〉
- 珍しい色のカエルがいたこと
 - 庄内は広く、農家も多く、しかも家が大きい
 - 東京と違い田んぼがいっぱいあり、広がったこと
 - カエルやバツがたくさんいたこと
 - 餅つきをしたこと
 - 民泊
 - 野菜や料理がおいしかったこと
 - 庄内のお米がすごくおいしかったこと

- 〈保護者・教諭〉
- 田んぼのスケールが大きい
 - 自然が多く、海も近く、ほとんどの食材が自給自足できること
 - 庄内平野がとてもきれいで感動した
 - 人柄が大変あたたかいところ
 - どこまでも続く緑のじゅうたんは圧巻だった
 - 施設が整っていること
 - 食べ物や山のもの、海のもの、畑のもの、田のものと揃っていること

庄内の食材を食べてみた感想

- 〈児童〉
- メロンが甘くて中身もぎっしりでおいしかった
 - 赤ネギを初めて食べたが、甘くてビックリした
 - いつも食べているお米と違ってお米につやがあった
 - 野菜に農薬が使われておらず、安全で美味しい
 - 岩がきがトロっとしておいしかった
 - お米があまくふくらしていた

- 〈保護者・教諭〉
- 採れたての野菜はみずみずしくてごちそうでした。
 - じゃが芋が美味しくて子どもが喜んでいました
 - BBQの牛肉と豚肉、アスパラやトマトが美味しく、東京でもたくさん出回れば良いと思った

地元に戻ってから庄内の食材を食べる機会がありましたか

- 庄内のお米をたべている
- 意識して庄内産を探しているが、なかなか見つからない
- 酒、えだ豆、米、お菓子、きゅうり
- 民泊先で教えていただいたきゅうりのからし漬けを作ってみた

宿泊について

- 民泊の方が優しく、いろいろな体験をさせてくれて楽しかった
- しらい自然館は体育館や広場もあって遊べてよかった
- 民泊先の朝の収穫と朝市が楽しかった
- 両日としらい自然館でも良いかもしれない
- しらい自然館での大部屋での宿泊が楽しかった

その他

- 民泊、BBQ、泥んこパレーなどは一生の思い出になる
- 民泊先でやったことのない花火をして楽しかった
- 山居倉庫の他にもお米の説明を聞ける所に行けるとよかった
- 二階建てのバスがよかった
- 上京運動で渡したツアーの案内の扱いが分かりづかった
- 民泊先でこめ粉の活用レシピなどを教えてもらってよかった



中平田
支部

1日

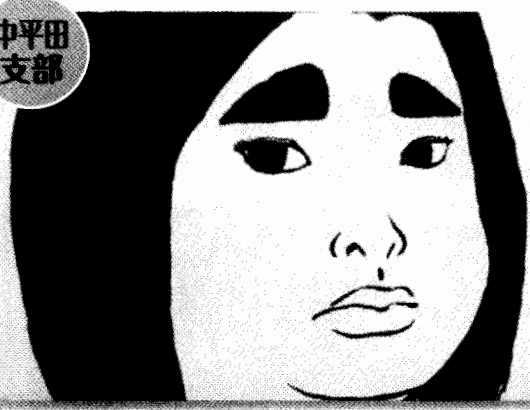
3食



米を
食うぜ

JA庄内みどり青年部
中平田支部

中平田
支部



豆と
恋が
したい

JA庄内みどり青年部
中平田支部

北平田地区
農業振興協議会

北平田
支部

がんばるぞい
必ずやるぞい
ぶ来るぞい

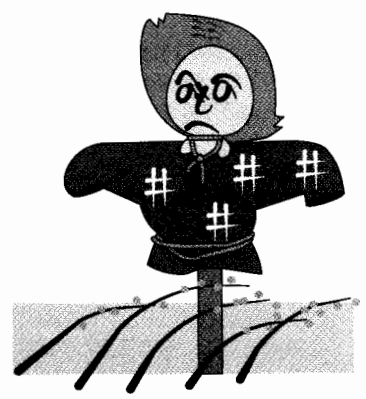
JA庄内みどり青年部
北平田支部

新堀
支部

米くあんば
つや姫
だろ~!



JA庄内みどり青年部新堀支部・農政対



西尾湖支部

庄内米 たせ

ライスをおかずにごはんをたべてるぜ〜ワイルドだろ

JA庄内みどり青年部 農政村

八幡の米

八幡のつや姫うめの〜

JA庄内みどり青年部 八幡支部

遊佐支部

おいしい米をさらにおいしく

NOGYO 郷

JA庄内みどり青年部遊佐支部

上田支部

めざせお米の金メダル

つや姫

JA庄内みどり青年部上田支部

野立看板 2012

高瀬支部

庄内米に乾杯

ほんまにうまいでえ〜

JA庄内みどり青年部高瀬支部

経営部主催

農業視察研修

9月9日(日)に視察研修が行われました。盟友の皆様にはお忙しい中、視察研修に参加していただきまして、誠にありがとうございました。ございました。

本年度は、窪畑ファームの「トマト栽培」を視察しました。視察当日は、ハウス内を見学した後、窪畑ファームの代表者から経営戦略や栽培技術についてお話を伺いました。微生物や有機肥料を駆使した土壌造りがなされていて、安心・安全な野菜作りに努めているとのことでした。また、収穫されるトマトは、トマトジュースに加工する等して、販路の拡大にも努めているとのことでした。

実際に取り入れるのは難しい点もありましたが、経営戦略を考えるうえで、参考になると感じた参加者も多いのではないのでしょうか。来年度も視察研修への多数の参加をお願いいたします。(経営部長 佐藤 仁)

総務部主催

盟友交流会

9月9日に総務部主催・盟友交流会を玉姫殿にて開催させて頂きました。当日は50名を越える盟友の皆さんにご参加頂き、ありがとうございました。

懇親会では、高温による米の生育状況の懸念、青年部盟友も含め農業青年の現状など、期待や不安そして夢などを、一杯呑みながら熱く語っているようでした。改めて盟友の皆さんは、自分の将来について真剣に考えているのだと思いました。青年部活動も年間行事の半分を終えることができました。これからも有意義な意見交換の場と、明るく楽しい懇親会の場をセッティングしていきたいと思えますので、盟友の皆さん是非ご参加下さい。

(総務部長 土門 康記)



今年5月から鳥海支部が活動を再開しました。既に鳥海支部の盟友の皆様からは、上京運動・田舎まるかじりツアー等、多くの場面でご協力を頂いております。鳥海支部を牽引するのは、支部長の伊藤昭さん(写真左端)。下半期も鳥海支部の益々のご活躍に乞うご期待!!

上半期の青年部事業を総括した今号いかがだったでしょうか。上京運動、田舎まるかじりツアー等の大きな事業も無事に終える事が出来ました。盟友の皆さんの活躍を誌面で全て伝えることは難しいですが、事業に参加できなかった盟友の方も来年は是非参加してみして下さい。広報部も盟友の皆さんの活動を少しでも多く楽しく伝えられる様な広報作りをしていきたいです。それでは下半期も頑張ってくださいませ!

(広報部長 渡部 義則)



鳥海支部

あとがき

恋のめぐり 2012 9/16

男女の交流パーティーを盛り上げよう!

●開催日時 13:00-18:00(最終受付 12:00) 定例パーティー
●場 所 赤坂サカズキビル3F(有明線) 徒歩5分
●参加費 男性 3,000円・女性 1,000円
●申込 9/10(日)まで 申込先: 婚活委員会事務局
TEL: 03-34-26-5757 FAX: 03-34-26-6483
E-MAIL: hogu@city.sakazaki.jp

9/16に婚活イベントがありました。次回、是非参加しませんか?